

関西大学人権問題研究室 国際ワークショップ

# 戦争と歴史認識 — 歴史教育学の可能性

参加要申込  
**無料入場**

グローバル化時代の平和構築にとって、歴史認識にかかわる問題の重要性がますます高まっている。戦争の記憶を若者にどのように伝えていくかは、私たちの大きな課題である。関西大学人権問題研究室では、戦後、隣国との平和共存を進めてきたドイツで、歴史教育の研究と実践に携わるマルティン・リーパツハ氏と、大阪府の高校で社会科を教える金田修治氏を招き、ドイツと日本の歴史教育学の可能性を議論する。

**講演** 使用言語／日本語・ドイツ語・英語（通訳付）

**ドイツの歴史教育学の基本的特徴—“知識”と“歴史的判断力の育成”をめぐって**  
マルティン・リーパツハ (Dr.Martin Liepach) 氏 フリッツ・バウアー研究所ユダヤ博物館教育部門長

**“戦争を伝える”歴史教育の実際—新たなる可能性を求めて**  
金田修治 氏 大阪府高等学校社会（地歴・公民）科研究会 副理事長

2013年 **11月16日** (土) **14:00 ~ 18:00**

関西大学千里山キャンパス 第1学舎1号館 A301 教室

- 参加ご希望の方は、ご氏名・連絡先をご記載の上、電子メールあるいはFAXにてお申込み下さい。多数のご来場を歓迎します。
- 詳細については、人権問題研究室のHPにて随時お知らせいたします。

主催 | 関西大学人権問題研究室 <http://www.kansai-u.ac.jp/hrs/>

お問い合わせ・申込み先 | TEL=06-6368-1182 FAX=06-6368-0081 E-Mail=jinkenken@ml.kandai.jp